

福岡市天神地区におけるフリンジパーキングの試み

福岡市住宅都市局都心交通課・福岡市道路下水道局駐車場施設課・We Love 天神協議会

1. はじめに

福岡市と We Love 天神協議会は、2012 年度に「天神交通戦略」を共働で策定した。以来、「歩いて楽しいまち」を実現するために、公開空地利活用、適正な駐輪の促進、公共交通の利用促進など、まちづくりおよび交通に関連するさまざまな施策を官民連携で進めている。本稿で紹介するフリンジパーキングの実証実験も天神交通戦略に基づく施策のひとつである。慢性的に道路が混雑している天神地区への過度な自動車の流入抑制を目的としている。

2. これまでの経緯と現在の実証概要

フリンジパーキングの実証実験は、2015 年にはじめて実施した。当初は、初売り時の道路混雑緩和効果の検証を目的に 1 日限定の実証だった。初売りのような特異日以外の効果検証や駐車場事業者との連携調整などを経て、2019 年 3 月から現在の形態での実証に至っている（表 1）。

表.1 フリンジパーキングの実証実験の主な経緯

年月	概要
2015.01	初売り時の道路混雑緩和効果を検証（1 日限定）
2016.01	初売り時の道路混雑緩和効果を検証（1 日限定）
2017.07	天神北エリアでの道路混雑緩和効果を検証（平休 3 日間）
2017.11	天神南エリアでの道路混雑緩和効果を検証（平休 2 日間）
2019.03	通年での実証実験開始
2020.04	対象駐車場を拡大および恒常的な運用の検討に着手
2021.04	実証期限の撤廃およびセルフ割引認証の導入

現在は、天神地区中心部の駐車料金よりも安価な価格設定とするため、天神に来られた方限定でフリンジパーキングの駐車料金を 1 日最大 500 円としている。また、フリンジパーキングと天神地区中心部間の移動負担を軽減するため、利用特典としてバスの片道乗車券を配布している。駐車場の割引原資は駐車場事業者が、バスの片道乗車券は西日本鉄道（株）が、それぞれ負担している。2019 年 3 月の開始当初はポートレース福岡第 1 立体駐車場とグランドパーキングに協力をいただき、天神地区の南北にそれぞれ 1 か所ずつ対象駐車場を設けていたが、2020 年 4 月に天神地区の北側に対象駐車場を拡大し、現在は対象駐車場を 3 か所設けている（図 1）。

利用者は福岡市観光案内所の窓口、もしくはライオン広場に設置されたセルフ割引認証機で割引認証をすることでサービスの適用が受けられる。



図.1 フリンジパーキングの対象駐車場の位置

3. 利用状況と利用者の評価

フリンジパーキングの利用状況は、緊急事態宣言の発出に伴う休止の影響もあるが、開始以降、概ね右肩上がりでの利用を伸ばしている（図.2）。一方、目抜き通りである渡辺通りは、12 時間の流入交通量が南北からそれぞれ 15,000 台程度であり、道路混雑の緩和に向けては、さらなる利用の促進が課題となっている。

また、利用者の評価も概ね好評でありリピート率も高まっている。また、天神での滞在時間が延びた、天神での立ち寄りスポットが増えたなどの副次的な効果も現れ始めている。一方で、対象駐車場や割引認証場所の拡大などの要望もあり、サービスの改善は継続的に進める必要がある。

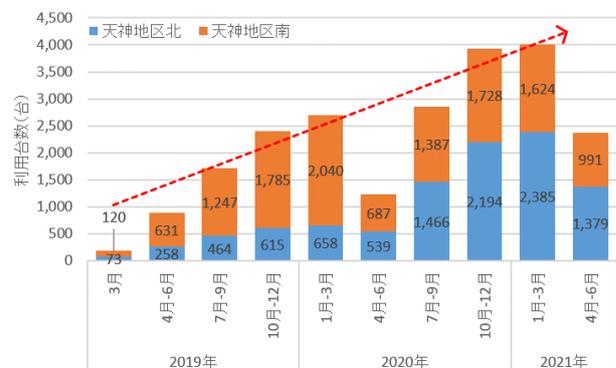


図.2 フリンジパーキングの利用者数の推移

4. 本格的な社会実装に向けて

現在、恒常的な運用に向けた検討や利用促進を進めている。実証実験を通じて課題をひとつずつ検証し、漸進的にフリンジパーキングの仕組みを進化させていきたい。